

平成30年度 東京都健康推進プラン 2 1（第二次）の推進に関する主な取組状況

がん予防・検診受診率向上事業 予算額:38,935千円

がんの予防・早期発見のための普及啓発及び区市町村や企業のがん対策の取組を支援することにより、がん検診の受診率向上を図る。

- 区市町村や企業との「がん対策推進宣言」による機運の醸成（8月）
- 乳がん月間におけるキャンペーンの実施（10・11月）
- 大腸がん検診普及啓発ウォーキングイベントの開催（11月：1,752名）
- 成人式会場や特設サイトにおける子宮頸がん啓発の実施（1月）
- 主婦層向けフリーペーパーを活用した普及啓発（7・2月号：約22万部）
- 医療保険者や職域関連団体に向けた普及啓発媒体の配布
- 区市町村や企業と連携した女性の健康週間における啓発キャンペーンの実施（3月予定）



東京都がん検診啓発
キャラクター「モンカモくん」

がん検診実施体制の整備 予算額:25,434千円

区市町村が行うがん検診の受診率向上と精度管理の充実を支援し、精密検査未受診者への受診勧奨及びがん検診要精検者の精密検査結果の把握を徹底させるとともに、検診従事者の育成を図る。

- 区市町村がん検診事業担当者連絡会（4回：延べ289名）
- 訪問等による区市町村への技術的支援（14回）
- がん検診受託機関講習会（2回：延べ84名）
- 胃内視鏡従事者研修（2回：延べ115名）
- 乳がん検査従事者等講習会（1回：146名）
- マンモグラフィ読影医師等養成研修（4回：延べ176名）
- がん検診精度管理評価事業（3月に結果公表予定）
- 精密検査受診率向上・結果把握向上推進事業（3月に結果公表予定）



糖尿病予防対策事業 予算額:3,012千円

糖尿病の発症や重症化・合併症の予防を図るため、都民に対する普及啓発を行うとともに、職域における糖尿病予防対策の体制整備を支援する。

- ネットスーパーへの予防啓発動画掲載（11～12月）
- 糖尿病重症化予防シンポジウムの開催（11月：158名）
- 都庁舎・都立施設ブルーライトアップ（11月14日～16日）



ウェルネス・チャレンジ 予算額:15,163千円

都民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図るため、都民自らが負担感のない生活習慣の改善と健康づくりの実践が行えるよう、区市町村や民間企業と連携し、普及啓発と環境整備を行う。

- 地域における食生活改善普及事業（多摩・島しょ地区）
1食当たり120g以上の野菜を使用したメニューを提供する飲食店を「野菜メニュー店」として、都のホームページで紹介。

【野菜メニュー店ステッカー】



- ※ 店舗数（9月末時点）450店
- 野菜を食べる！習慣づくり
「野菜たっぷり！簡単レシピ」を作成し、レシピ検索サイトに掲載（レシピ数10、年2回掲載）

- あと10分歩こうキャンペーン

- 都営地下鉄6駅で駅階段ステップ表示を、
都営地下鉄各駅で階段利用を促すポスター掲出を実施
- 区市町村等が作成したウォーキングマップを掲載するポータルサイト「TOKYO WALKING MAP」の運営
※ 34自治体359コースを掲載（3月末予定）

【都営地下鉄 青山一丁目駅 駅構内階段】



受動喫煙防止対策の推進 予算額:1,616,679千円

東京都受動喫煙防止条例の制定、公布(2020年4月全面施行)

屋内での受動喫煙による健康影響を未然に防止し、誰もが快適に過ごせる街を実現。

人に着目(子どもや従業員を守る。)した都独自のルールを構築。

- 受動喫煙に関する専門相談窓口の設置
 - ◆電話・来所相談、喫煙専用室設置専門アドバイザー相談及び派遣事業
受付時間：平日(年末年始を除く)9時から17時45分まで
 - ◆チャットボット(自動応答システム)による相談
24時間365日間合せ対応
- 条例キックオフイベントや各種普及啓発の実施
 - ◆アンバサダー任命：「健康ファースト大使」高橋尚子さん
 - ◆シンボルマーク作成
 - ◆高橋尚子さんを起用したポスター提示、動画放映
 - ◆都や区市町村が発行する広報誌、Webを活用した啓発
- 区市町村の受動喫煙防止対策の取組支援
 - ◆新制度に関する普及啓発等や公衆喫煙所整備に関する支援
 - ◆禁煙治療費等支援(区市町村包括補助事業)



喫煙の健康影響に関する普及啓発 予算額:13,633千円

- 大学生向け喫煙・受動喫煙の健康影響に関する意識向上事業
- 未成年者喫煙防止ポスターコンクールの実施(応募件数1,591件)



COPD対策 予算額:4,482千円

- 肺年齢測定会の実施（6回：延べ1,235名）
COPDを知るきっかけとして、都や区市町村実施のイベント会場等に肺年齢測定の体験ブースを設置
- パンフレットの作成・関係団体と連携したポスター等の掲出



東京都健康推進プラン21(第二次)の推進 予算額:19,017千円

- 推進会議・部会等の設置・運営
- 健康づくりの普及啓発
ポータルサイトによる健康づくりに関する情報提供や、区市町村の健康づくりの取組事例の紹介
- 健康づくり事業推進指導者育成研修（25回：延べ1,998名）
区市町村や医療保険者等における健康づくりの指導的役割を果たす人材の育成を図る。
※ 研修テーマの例：がん、糖尿病、循環器疾患、運動、栄養、睡眠、地域・職域連携、事業評価 等

職域健康促進サポート事業 予算額:50,013千円

都がこれまで蓄積してきた健康づくり、がん対策、肝炎対策及び感染症対策の知見の効果的な普及啓発と事業者における取組の促進を図るため、東京商工会議所と連携の上、「健康経営アドバイザー」を活用し、事業者に対する取組支援を行う。

普及啓発：9,000社、取組支援：93社（1月時点実績）

医療保健政策区市町村包括補助事業(都単独事業)

区市町村が地域の実情等を踏まえた医療保健サービスを展開するため、主体的に実施する医療保健分野にわたる事業に対し財政的支援を行う。

※ 例：生活習慣改善推進事業、ウォーキングマップ作成事業、がん検診精度管理向上事業 等